

科目名	頭が良くなるニュースの見方		Subject	How to grasp news report intellectually				
サブタイトル	日々のニュースを読み解くことで、日本と世界の仕組みや物事の多様な見方を学ぶ。							
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」					
開講年次	開講時期	必修／選択	DP 1 知識・技能	DP 2 主体的行動力	DP 3 課題解決能力	DP 4 多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	DP 5 日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	DP 6 美しく生きる力を実践できる能力
1 年	前期	選択						
授業形態	単位	時間						
講義	2 単位	30 時間						
ゲストスピーカー招聘回		なし	○	○	○	◎		
教員名	橋高 聡			メールアドレス	satoshi.kittaka@・・・			
教員の略歴	1985 年早稲田大学政治経済学部経済学科卒業、1985～2014 年日本経済新聞社にて記者、紙面編集にあたる。2014～2018 年日経 QUICK ニュース社代表取締役、2018 年～日経リサーチ常務取締役、2025 年日経リサーチ顧問							
実践的教育	新聞記者：記者としての経験を活かし、具体的な事例や経験談を盛り込んだ授業構成としている。							
オフィスアワー	授業の前後３０分に直接声をかけてください。							

科目の概要																	
日々発生するニュースを通して日本や世界の政治・経済・社会の現状を知り、政治・経済・社会の基本的な仕組みを学ぶ。なぜそうしたニュースが起きたのか、背景に何があるのか、課題や問題は何かについて考える。そうしたプロセスを通じてディプロマポリシーにある「多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力」を養う。																	
授業方法																	
対面		オンライン		ハイブリッド		ディスカッション		プレゼンテーション		作品制作							
-		○		-		-		-		-							
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）																	
ディプロマポリシー		授業の目標															
DP4		自分のアイデンティティを認識し自分とは異なる価値観や考え方を持つ人々の社会的・文化的背景を理解・尊重し、世界の様々な人々と協働できる。															
DP1		習得した知識や技能を、実際の場面で活用し、適切な行動をとることができる。															
DP2		社会や自分の状況を把握し、目的を果たすためにとるべき行動を決断し、実際に行動し続けることができる。															
DP3		データや様々な思考法を用いて課題を分析、解決策を想定し、社会状況を勘案した上で、付加価値の高い解決策を提示できる。															
教科書・教材																	
教科書		教員作成資料															
参考文献		なし															
各自準備教材		なし															
評価方法																	
筆記試験		実技試験		受講態度		小テスト		レポート		プレゼンテーション		作品		課題		その他	
40%		-		30%		-		30%		-		-		-		-	
なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。																	
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法																	
レポートに対して、コメントを返します。																	
履修上の条件・注意																	
新聞やテレビ、インターネットなどで毎日、ニュースを確認する。 ※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。																	
本科目履修と関連する資格																	
なし																	

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間(分)
第 1 回	オリエンテーション ニュースとは何かを学ぶ。	授業の進め方、授業の全体像を理解し、15 回の授業の展開を予測できる。	（予習）世界で起きている戦争を調べておく。（180 分） （復習）授業で習ったポイントを整理し検証する。 （60 分）	240 分
第 2 回	現代の戦争について現状と背景を学ぶ。 ガザ戦争	パレスチナ問題の背景を理解し、現代の国 際政治を読み解くことができる。	（予習）ウクライナ戦争の現状を調べておく。（180 分） （復習）授業で習ったポイントを整理し検証す る。（60 分）	240 分
第 3 回	現代の戦争について現状と背景を学ぶ。 ウクライナ戦争	ウクライナ戦争を通して世界の現状を理解 し、他者に自分の気づきを伝えることがで きる。	（予習）日本の過去の戦争について調べておく。 （180 分） （復習）授業で習ったポイントを整理し検 証する。（60 分）	240 分
第 4 回	日本の過去の戦争について学ぶ。	日本がなぜ世界大戦に参戦したか背景を理 解し、その後の影響について他者に伝える ことができる。	（予習）新聞記事をいくつか読んで感想をまとめて おく。（180 分） （復習）授業で習ったポイントを整理し検証する。 （60 分）	240 分
第 5 回	新聞記者の仕事を学ぶ。	ニュースがどのようにできるかを感じ、新 聞記者の仕事を描くことができる。	（予習）その時話題の国際ニュース（授業内で提示 する）を調べておく。（180 分） （復習）授業で習ったポイントを整理し検証する。 （60 分）	240 分
第 6 回	その時話題の国際ニュースを学ぶ。世界と 日本の関係を解説する。	ニュースを通して国際問題を理解し、世界 と日本のつながりを述べるができる。	（予習）その時話題の政治ニュース（授業内で提示 する）を調べておく。（180 分） （復習）授業で習ったポイントを整理し検証する。 （60 分）	240 分
第 7 回	その時話題の政治ニュースを学ぶ。政治の 仕組みを解説する。	ニュースを通して国際問題を理解し、世界 と日本のつながりを述べるができる。	（予習）その時話題の経済ニュース（授業内で提示 する）を調べておく。（180 分） （復習）授業で習ったポイントを整理し検証する。 （60 分）	240 分
第 8 回	その時話題の経済ニュースを学ぶ。経済の 仕組みを解説する。	ニュースを通して経済の仕組みを学び、経 済が自身の生活とどうつながっているかを 述べるができる。	（予習）その時話題の社会ニュース（授業内で提示 する）を調べておく。（180 分） （復習）授業で習ったポイントを整理し検証する。 （60 分）	240 分
第 9 回	その時話題の社会ニュースを学ぶ。社会問 題の種類を解説する。	ニュースを通して社会問題を理解し、社会 問題にどう向き合うかを考え、意見を述べ ることができる。	（予習）身の周りのメディアをどう使っているかま とめておく。（180 分） （復習）授業で習ったポイント を整理し検証する。（60 分）	240 分
第 10 回	メディアの変遷を学ぶ。	新聞やテレビ、インターネットなどメディ アの変遷を学びリテラシーを高め、学びの 内容を述べるができる。	（予習）その時話題の国際ニュース（授業内で提示 する）を調べておく。（180 分） （復習）授業で習ったポイントを整理し検証する。 （60 分）	240 分
第 11 回	その時話題の国際ニュースを学ぶ。地球規 模の課題について解説する。	前回のニュースの状況変化について学び、 国際問題の複雑さを理解したうえで他者に 述べるができる。	（予習）その時話題の政治ニュース（授業内で提示 する）を調べておく。（180 分） （復習）授業で習ったポイントを整理し検証する。 （60 分）	240 分
第 12 回	その時話題の政治ニュースを学ぶ。政治と メディアの関係について解説する。	新聞の政治報道を通してメディアによる政 治的スタンスの違いを理解し、比較でき る。	（予習）その時話題の経済ニュース（授業内で提示 する）を調べておく。（180 分） （復習）授業で習ったポイントを整理し検証する。 （60 分）	240 分
第 13 回	その時話題の経済ニュースを学ぶ。経済知 識とビジネスの関係を解説する。	身近な経済ニュースを通して生活やビジネ ス上必要な経済知識の基本を理解し、述べ ることができる。	（予習）自分が見聞きした偽ニュースをまとめてお く。（180 分） （復習）授業で習ったポイントを整理し検証する。 （60 分）	240 分
第 14 回	偽ニュースの見分け方を学ぶ。	身近な経済ニュースを通して生活やビジネ ス上必要な経済知識の基本を理解し、述べ ることができる。	（予習）資料とノートを見直し、15 回の授業（特に 政治、国際ニュース）を振り返る。（180 分） （復習）授業で習ったポイントを整理し検証する。 （60 分）	240 分
第 15 回	まとめ 15 回の振り返り	授業を通して政治・経済・社会の基本的な 仕組みを理解し、多様な価値観や考え方を 受け入れることができる。	（復習）授業で習ったポイントを整理し検証する。 （60 分）	240 分